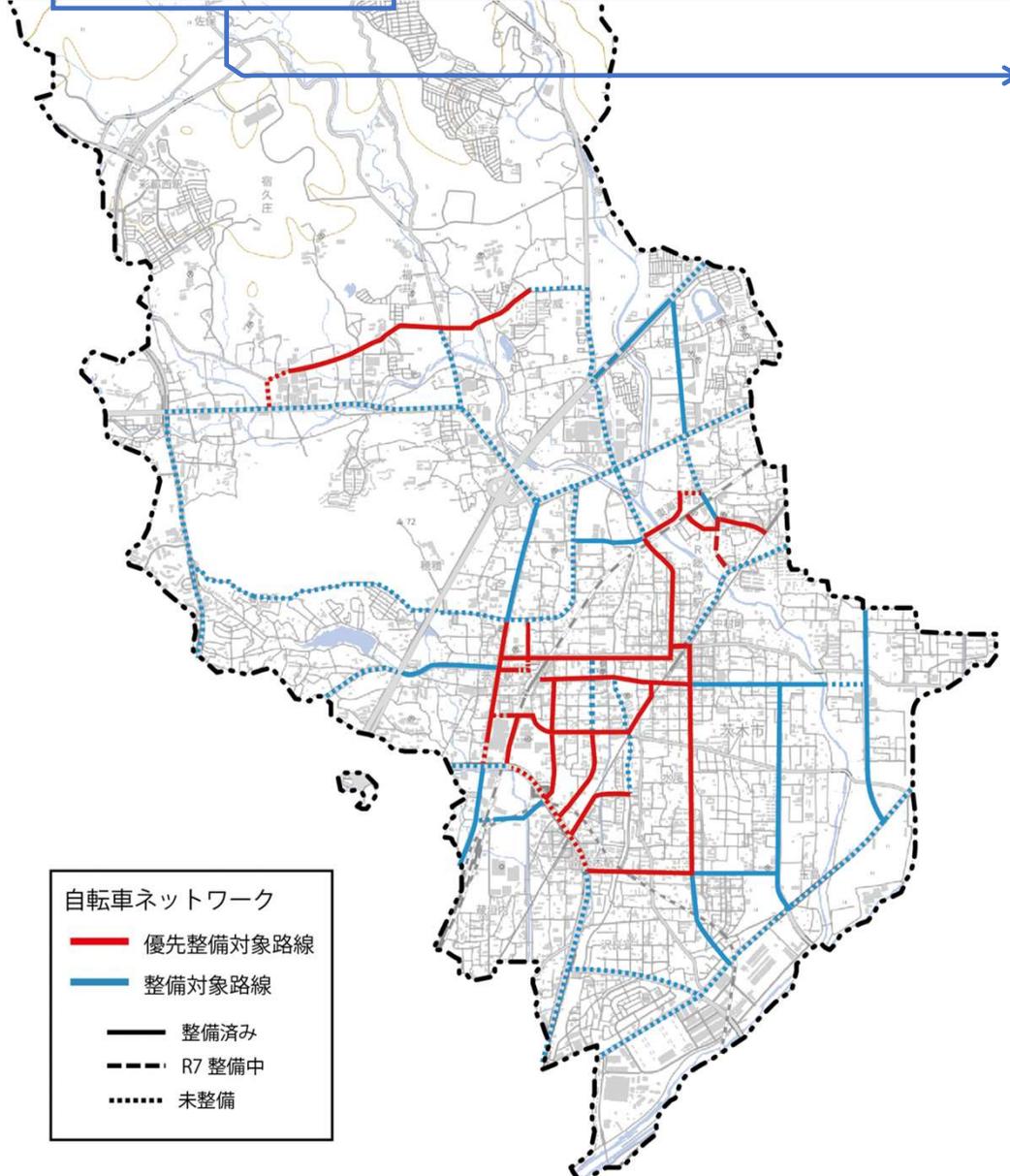


整備率	全体	優先整備路線	その他の路線
国	0 m / 5,800 m = 0.0%	- / - = - %	0 m / 5,800 m = 0.0%
大阪府	11,040 m / 27,900 m = 39.6%	4,240 m / 5,900 m = 71.9%	6,800 m / 22,000 m = 30.9%
茨木市	18,721 m / 27,600 m = 67.8%	13,330 m / 14,200 m = 93.9%	5,391 m / 13,400 m = 40.2%
計	29,761 m / 61,300 m = 48.5%	17,570 m / 20,100 m = 87.4%	12,191 m / 41,200 m = 29.6%



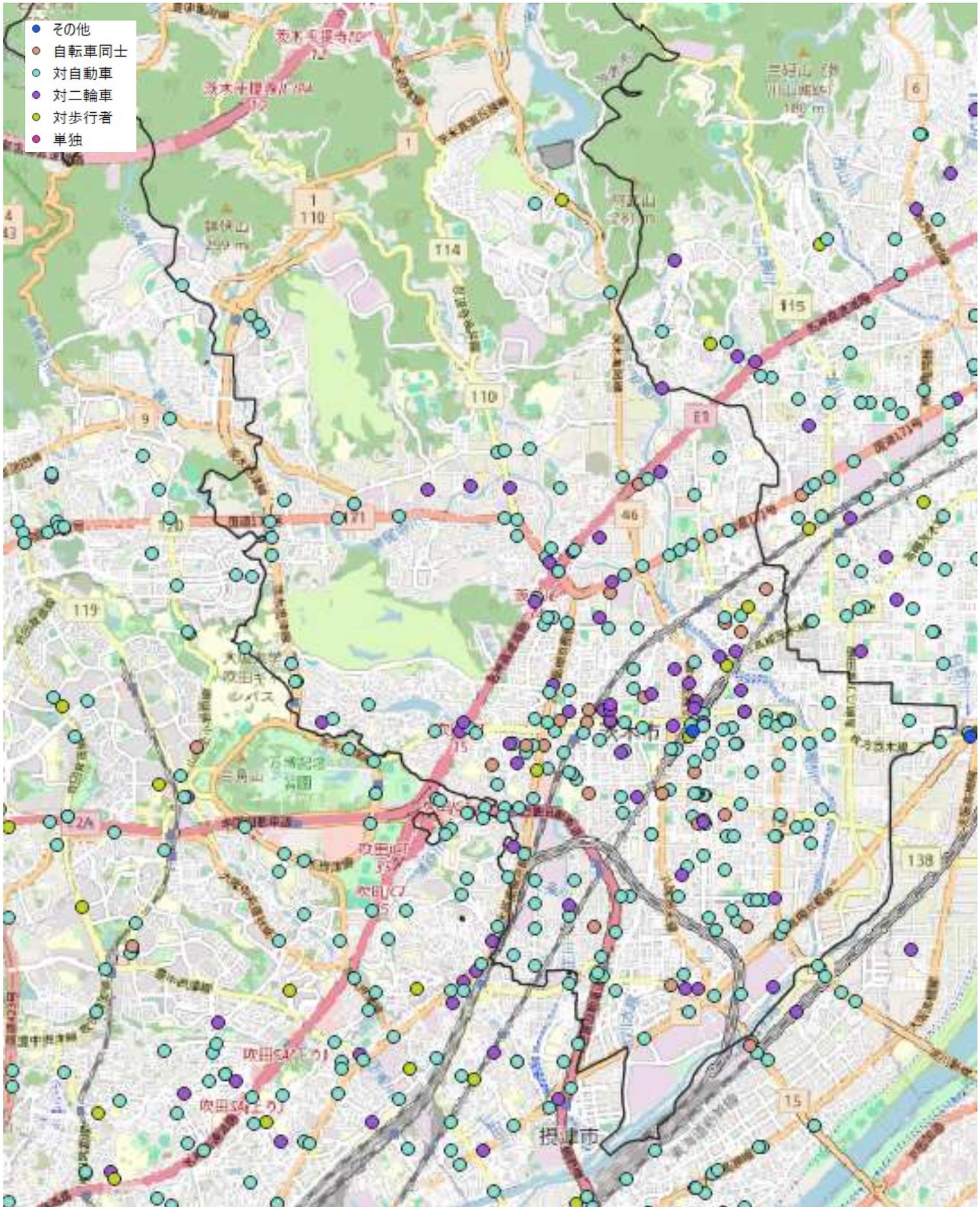
整備形態	整備イメージ
自動車道	<p>A. 自転車と自動車を構造物により分離する場合</p>
自転車専用通行帯	<p>B. 車道内で自転車と自動車の通行帯を分離する場合</p>
車道混在	<p>C. 車道混在とする場合</p> <p>矢羽根型路面表示等を設置</p> <p>矢羽根型路面表示等で注意喚起</p>
歩道の視覚分離	<p>市道岩倉町2号線</p>

整備割合
0%
(該当路線なし)

整備割合
0%
(該当路線なし)

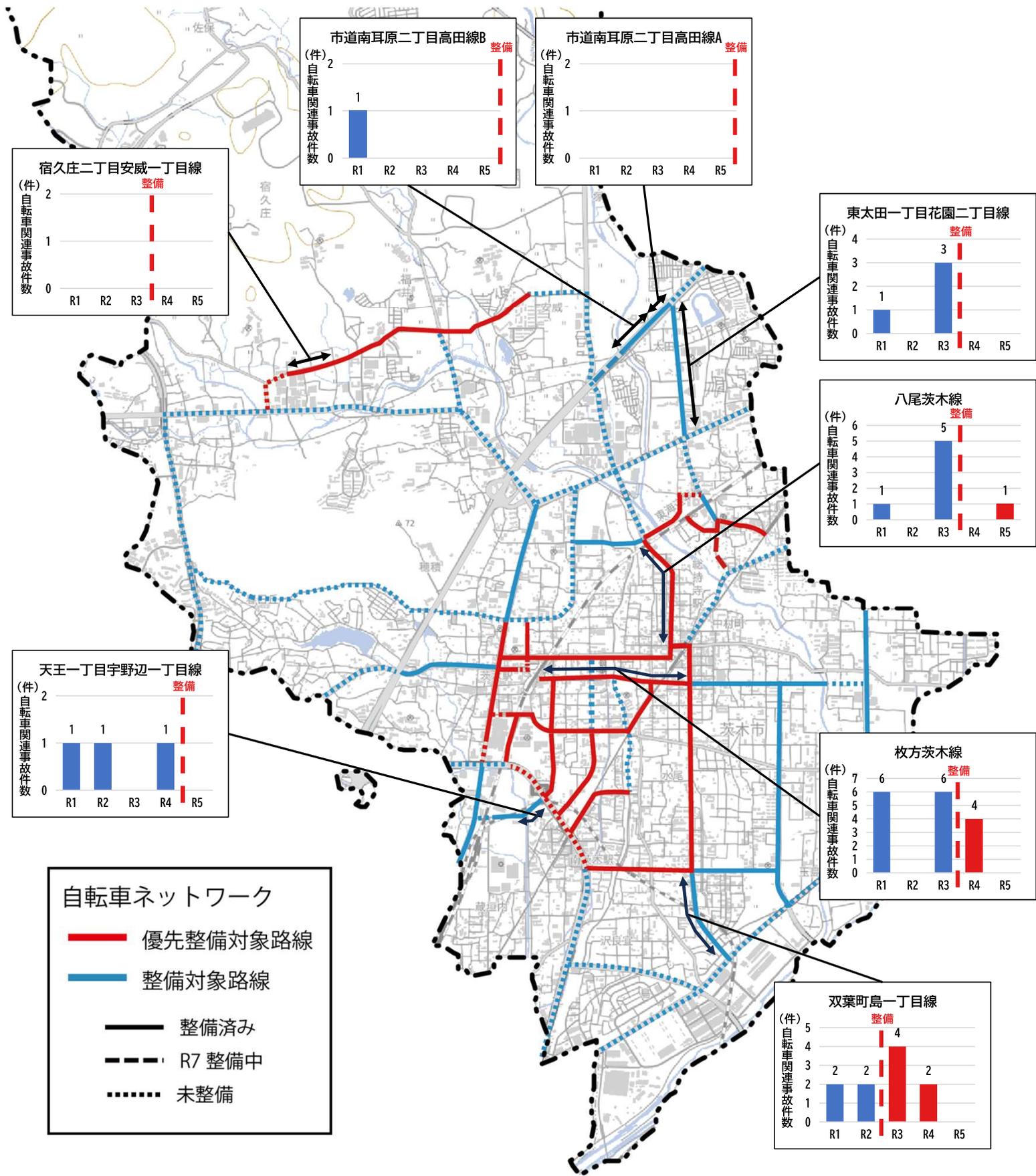
整備割合
96.8%

整備割合
3.2%



資料：交通事故統計情報のオープンデータ (R5)

自転車ネットワーク路線の整備状況と事故発生件数



自転車安全教育・啓発の取り組み(ライフステージ別)

茨木市で実施

茨木警察で実施

茨木市、茨木警察 合同で実施

関係機関と連携して実施

※回数は令和6年度実施分

	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者	障害者施設	外国人
座学	 放課後子ども教室での交通安全教育 1回	 参加体験型交通安全教室 32回	 参加体験型自転車安全教室 14回	・講義 8回 ・道路の危険予測  交通安全の講話 (茨警) 1回	大学生に対する交通安全教育 (茨警) 1回  自動車、二輪車の交通安全運転講習会 (春・秋) 18回 自動車教習所を活用したセーフティドライバーワンデースクール ・座学講習(自転車の安全利用五則を含む)(春・秋)	企業向け講習 (茨警) 35回  広報にて公募し、高齢者施設において講習 7回 交通ルールについての講習 (茨警) 7回	施設と相談の上、内容を決定 1回	交通ルールについての講習 6回	
	幼児向けの交通安全教室 園庭等での歩行実技(4歳児クラス以上) 66回 	実践型の交通安全教育(茨警) 1回  小学生の自転車安全大会(茨警) 1回			・教官が同乗し、コース実技(秋のみ実施) ・ケーススタディー(秋のみ実施) 2回(うち1回は座学のみ) 	 高齢者交通安全リーダー研修会 講話 自転車シュミレーター反射テスト 1回 	歩行実技等 0回		
実技	・交通安全テキスト 幼児、保護者向け	交通安全テキスト 1、2年生 歩行編 3～6年生 自転車編	交通安全テキスト中学生・高校生	・高校生通学路において、朝の通学時に街頭指導	街頭キャンペーンやチラシを活用した自転車ヘルメット着用に向けた働きかけ	交通安全テキスト 高齢者・一般			
	交通安全テキスト 幼児、保護者向け	交通安全テキスト 1、2年生 歩行編 3～6年生 自転車編	交通安全テキスト中学生・高校生	・高校生通学路において、朝の通学時に街頭指導	街頭キャンペーンやチラシを活用した自転車ヘルメット着用に向けた働きかけ	交通安全テキスト 高齢者・一般			
啓発	○関係団体(茨木市、茨木警察、交通安全協会等)と連携した啓発、各種イベント(交通安全大会、交通安全フェスタ) ○自転車レーンの走り方を地域へ啓発(チラシ・市ホームページ等) ○地域交通安全活動推進委員や企業、ひろめ隊と連携した街頭キャンペーンやチラシ等を活用した正しい自転車の交通ルールの啓発活動 ○庁内や市内施設・学校のスポット放送や市の広報を活用した正しい自転車の交通ルールの啓発								